

いくつかの合同型一様乱数生成式  
のスペクトル検定結果について

計量研究所 栗田良春  
(Y. KURITA)

§1 はじめに

プログラムというものは、広く使われていけばそれだけ慣性が大い。特に擬似乱数の発生、変換、検定および改善のプログラムはその性格上、致命的な欠陥をもたぬ限り、それを他の“よりよい”と思われるものに取り替えるのは困難であるし実現できても時間がかかる。そこでこの分野の研究ではよりよい乱数を作る努力をする一方で、なるべく強力な検定法を援用して現在使われている擬似乱数について組織的にその素性をあきらかにして、ユーザに公表することも必要である。

この報告はこの後者の意図に沿ったもので  $[0, 1]$ -様分布が期待される合同式を用いた乱数の生成法:

$$x_n = a \cdot x_{n-1} + c \pmod{m} \quad (*)$$

のパラメータ  $a, m$  を 12 組選び 6 次元までのスペクトル検定および周期全体に亘る系列相関係数を求めた結果を示

すものである。これらのパラメータは本研究集会で話題になったものを主に選んであり、従って一般に流布され使用されている生成式の一部と推測される。

## §2 検定項目

前述のように(\*)式の乗数 $a$ を12種選び、その各々に対して周期 $M$ が $2^{29}$ ,  $2^{30}$ ,  $2^{31}-1$ ,  $2^{31}$ ,  $2^{32}$ である場合についてTABLE 1.~5.に分けて結果をまとめてある。(たとえば(\*)式が乗算型であって $m=2^e$  ( $e=31$ 又は $32$ )かつ $a \pmod 8 = 3, 5$ であれば周期は $m/4$ であるから $M=2^{e-2}$ のTABLEが対応する)。

各表第1列は乗数 $a$ の通し番号, 第2列が $a$ , 第3~7列の上段がそれぞれ2~6次元の超平面構造の枚数 $n_2 \sim n_6$ , 下段括弧つゝ数値が"効率の指標としての楕円体の体積" $\mu_2 \sim \mu_6$ である。

$n_i, \mu_i; 2 \leq i \leq 6$  について詳しくは文献2) p.p 90~105を参照されたい。 $n_i$ はそこでは $\nu_i$ と記されており、これは最も粗い超平面群の枚数の目安となるが正確には最大面間隔の逆数である。参考までに、Fig. 1に3次元単位立方体表面近傍の点の配列の様子を示す。これは $M=2^{29}$ のTABLEの第3行( $a=65539$ ),  $n_3=10.86$ に対応する構造

であって, triplet  $(x_{3l}, x_{3l+1}, x_{3l+2})$ ,  $l=1, 2, \dots$  による3次元座標のうち立方体表面に  $\varepsilon (=1/512)$  以内の近さにある点だけを展開図の上にプロットしたものである.

はさみとのかみで立方体を拆えるとその平面群構造がよく判る.

第8列は系列相対係数  $C$  の値を示す. (文献2) pp. 78~87参照)

更に, TABLE 3. については, この  $M = 2^{31} - 1$  が (Mersenne) 素数であるので原始根をもちうる. そこで,  $a$  が  $M$  の原始根であるものについては  $a$  の数値の右肩に ● 印を付した.

尚, 計算のためのアルゴリズムは文献1) に依る所が多い.

### §3 各定数について

これらの検定結果をどのように読むかについては勿論, 明確な基準がある訳ではないが文献2) によれば, " $2 \leq t \leq 6$  について  $\mu_t$  が 0.1 以上あれば合格,  $\mu_t \geq 1$  ならば旗をひるがえしなば合格" とのべられている. この報告では5枚の一覧表の形にまとめてあるので, 相互に比較し相対的な評価をすることもできよう.

以下, これら定数の出典を主に記しておく.

1.  $16807 = 7^5$ .  $2^{31} - 1$  の原始根であって,  $m = 2^{31} - 1$ ,  $C = 0$  として IBM S/360 で LLRANDOM の名で呼ばれ

用いられた/ている。  $a \ll m$  であるので系列相関係数  $C$  の値は  $1/a$  がなり立つ。

2.  $32771 = 2^{15} + 3$ . Greenberger 提案といわれ、 $m = 2^{31}$ ,  $C \neq 0$  として国内で広く用いられている。

この検定によれば次の3.と共に最悪の得点である。

3.  $65539 = 2^{16} + 3$ .  $m = 2^{31}$ ,  $C = 0$  として IBM.

RANDU と名付けられ、国内の計算機でも、2.と同様、依然として用いられているのは問題である。

4.  $69069 = 3 \cdot 7 \cdot 11 \cdot 13 \cdot 23$ . 文献2) p.105 によれば

Marsaglia が"最良の乗数の候補"と呼んだものであり、

対称形で憶えやすい。  $m = 2^{32}$ ,  $C = 0$  として super duper

と呼ばれ IBM S/360 で用いられた/ている。各 TABLE

を見較べると、 $m = 2^{32}$ ,  $C \neq 0$  として用いた方がよいよ

うにも思われる。

5.  $1664525 = 5^2 \cdot 139 \cdot 479$  文献2)によれば Lavaux

提案とのことであるが詳細は不明である。  $2^{31}-1$  の原始

根であるが  $\text{mod } 8 = 5$  であるから  $C = 0$  としても用い

ることができる。特筆すべきは、 $m = 2^{32}$ ,  $C \neq 0$  の場合で

ある。

6.  $39894229 = \lfloor 10^8 / \sqrt{2\pi} \rfloor + 1$ ,  $\text{mod } 8 = 5$ ,

仁木(統数研)紹介のものである。

7.  $48828125 = 5^{11}$ ,  $\text{mod } 8 = 5$ , 小柳(筑波大)提案の国産品.

8.  $314159269 = L\pi \times 10^8 + 4$ ,  $\text{mod } 8 = 5$   
文献2) p105.参照.

9.  $397204094 = 2 \cdot 7^2 \cdot 4053103$

西村(慶応大)紹介で. 出典は G.S. Fishman; JASA 97(377), 1982. pp.129~136. であって  $m=2^{31}-1$ ,  $c=0$  として用いる.

10, 11. 文献2) p.102 参照.

12. 筆者がかって,  $2^{31}-1$  の原始根をスパクトルテストの節にかりて選び出した乗数のひとつである.<sup>3)</sup>

#### §4. おわりに.

以上, 本研究集会で話題となった合同型生成法を中心に取上げ, スパクトル・テストと系列相関係数の値の2つの観点からの素性を明らかにした. 使用されている他の生成法(合同式法に限らずM系列系その他についても)について更に調査したいと考える. ご存知の方は, 筆者までお知らせ頂ければ大変幸いである:

計量研究所

〒305  
茨城県新治郡桜村梅園一丁目1番4号

## 文献

- 1) Knuth, D.E. "THE ART OF COMPUTER PROGRAMMING Vol.2  
Seminumerical algorithms" Addison-Wesley 1971
- 2) 1)の改訂版の和訳：準数値算法/乱数 渋谷政昭訳  
サイエンス社 1981.
- 3) 栗田良春 情報処理 17(9) pp 828-834, 23(1) pp 100-  
101.

	a	n <sub>2</sub>	n <sub>3</sub>	n <sub>4</sub>	n <sub>5</sub>	n <sub>6</sub>	C
1	0 16807	16807.000 ( 1.653)	655.764 ( 2.200)	139.119 ( 3.443)	46.152 ( 2.053)	16.912 ( .225)	.595E-04
2	0 32771	23167.648 ( 3.141)	10.863 ( .000)	10.770 ( .000)	10.770 ( .001)	10.770 ( .015)	.271E-04
3	0 65539	23171.891 ( 3.142)	10.863 ( .000)	10.770 ( .000)	10.770 ( .001)	10.770 ( .015)	.136E-04
4	0 69069	8142.492 ( .388)	359.908 ( .364)	98.417 ( .862)	43.566 ( 1.539)	15.556 ( .136)	.145E-04
5	0 1664525	17621.527 ( 1.817)	321.260 ( .259)	63.103 ( .146)	34.670 ( .491)	21.307 ( .901)	.546E-06
6	0 39894229	16854.645 ( 1.662)	757.885 ( 3.396)	100.349 ( .932)	56.409 ( 5.600)	19.235 ( .488)	.489E-07
7	0 48828125	14451.570 ( 1.222)	225.765 ( .090)	122.041 ( 2.039)	50.239 ( 3.138)	29.428 ( 6.251)	.442E-06
8	0 314159269	14963.930 ( 1.310)	308.697 ( .230)	99.167 ( .889)	50.636 ( 3.264)	22.091 ( 1.119)	.293E-07
9	0 397204094	21319.270 ( 2.660)	772.997 ( 3.604)	113.868 ( 1.545)	37.855 ( .762)	23.195 ( 1.499)	.124E-05
10	1 566083941	14757.340 ( 1.274)	594.697 ( 1.641)	110.390 ( 1.365)	48.104 ( 2.525)	18.276 ( .359)	.886E-08
11	1 812433253	17424.582 ( 1.777)	604.743 ( 1.726)	122.776 ( 2.089)	51.127 ( 3.425)	22.045 ( 1.105)	.502E-07
12	2 100005341	10728.008 ( .673)	744.832 ( 3.224)	94.837 ( .744)	44.989 ( 1.807)	18.276 ( .359)	.652E-06

TABLE 1. M = 2<sup>29</sup>

1.073741824

	$\alpha$	$n_2$	$n_3$	$n_4$	$n_5$	$n_6$	C
1	0 16807	( 16807.000 .826)	( 655.764 1.100)	( 145.829 2.078)	( 46.152 1.026)	( 16.912 .113)	.595E-04
2	0 32771	( 32765.000 3.141)	( 10.863 .000)	( 10.770 .000)	( 10.770 .001)	( 10.770 .008)	.271E-04
3	0 65539	( 23171.891 1.571)	( 10.863 .000)	( 10.770 .000)	( 10.770 .001)	( 10.770 .008)	.136E-04
4	0 69069	( 16284.980 .776)	( 359.908 .182)	( 98.417 .431)	( 43.566 .769)	( 15.556 .068)	.145E-04
5	0 1664525	( 17621.527 .909)	( 642.520 1.035)	( 63.103 .073)	( 53.235 2.096)	( 21.307 .450)	.537E-06
6	0 39894229	( 16854.645 .831)	( 816.356 2.122)	( 100.349 .466)	( 61.806 4.421)	( 19.235 .244)	.332E-07
7	0 48828125	( 28903.137 2.444)	( 451.531 .359)	( 172.864 4.104)	( 50.239 1.569)	( 30.265 3.699)	.176E-06
8	0 314159269	( 29927.863 2.621)	( 308.697 .115)	( 142.401 1.890)	( 50.636 1.632)	( 22.091 .559)	.245E-08
9	0 397204094	( 30329.676 2.691)	( 905.585 2.897)	( 138.528 1.692)	( 37.855 .381)	( 30.100 3.579)	.125E-05
10	1 566083941	( 29514.680 2.549)	( 857.166 2.457)	( 175.812 4.391)	( 48.104 1.263)	( 18.276 .179)	.260E-07
11	1 812433253	( 17424.582 .888)	( 604.743 .863)	( 122.809 1.045)	( 51.127 1.713)	( 29.292 3.040)	.139E-07
12	2 100005341	( 21456.016 1.347)	( 744.832 1.612)	( 135.196 1.535)	( 50.080 1.544)	( 28.355 2.501)	.150E-06



	$d$	$n_2$	$n_3$	$n_4$	$n_5$	$n_6$	$C$
1	0 16807●	16807.000 (.413)	638.903 (.509)	147.248 (1.080)	66.626 (3.218)	29.917 (1.725)	.595E-04
2	0 32771	32771.000 (1.571)	20.905 (.000)	20.445 (.000)	20.445 (.009)	20.445 (.176)	.296E-04
3	0 65539	46338.828 (3.141)	9.274 (.000)	8.718 (.000)	8.718 (.000)	8.718 (.001)	.131E-04
4	0 69069	32570.262 (1.552)	1078.258 (2.445)	163.129 (1.627)	37.603 (.184)	27.803 (1.111)	.145E-04
5	0 1664525●	35247.168 (1.817)	1203.062 (3.396)	163.423 (1.639)	31.337 (.074)	16.093 (.042)	.602E-06
6	0 39894229	16945.801 (.420)	1097.451 (2.578)	174.703 (2.141)	61.855 (2.219)	24.880 (.571)	.312E-07
7	0 48828125	47108.250 (3.246)	1123.502 (2.766)	100.010 (.230)	63.143 (2.460)	20.567 (.182)	.713E-07
8	0 314159269●	37844.855 (2.095)	948.309 (1.663)	192.315 (3.143)	58.541 (1.685)	33.823 (3.603)	.198E-07
9	0 397204094●	27705.742 (1.123)	832.431 (1.125)	170.842 (1.958)	69.491 (3.972)	27.568 (1.056)	.178E-07
10	1 566083941	26265.941 (1.009)	1299.572 (4.281)	120.391 (.483)	57.245 (1.507)	27.350 (1.007)	.181E-08
11	1 812433253	24305.449 (.864)	905.646 (1.449)	166.931 (1.784)	59.355 (1.806)	27.037 (.940)	.110E-08
12	2 100005341●	43486.977 (2.767)	1201.454 (3.383)	205.653 (4.110)	65.230 (2.895)	31.922 (2.546)	.108E-07

ed.830712

TABLE 3.  $M = 2^{31} - 1$

	$a$	$n_2$	$n_3$	$n_4$	$n_5$	$n_6$	$C$
1	0 16807	16807.000 (.413)	655.764 (.550)	186.177 (2.761)	55.893 (1.337)	26.077 (.757)	.595E-04
2	0 32771	32771.000 (1.571)	21.726 (.000)	10.770 (.000)	10.770 (.000)	10.770 (.004)	.297E-04
3	0 65539	46338.121 (3.141)	10.863 (.000)	10.770 (.000)	10.770 (.000)	10.770 (.004)	.136E-04
4	0 69069	32569.961 (1.552)	719.817 (.727)	159.311 (1.480)	59.582 (1.841)	15.556 (.034)	.145E-04
5	0 1664525	35243.055 (1.817)	1285.040 (4.139)	126.206 (.583)	53.235 (1.048)	21.307 (.225)	.544E-06
6	0 39894229	16854.645 (.416)	929.823 (1.568)	100.349 (.233)	73.362 (5.209)	19.235 (.122)	.272E-07
7	0 48828125	46859.707 (3.212)	634.443 (.498)	172.864 (2.052)	54.203 (1.147)	30.265 (1.849)	.119E-06
8	0 314159269	36395.313 (1.938)	308.697 (.057)	142.401 (.945)	56.710 (1.438)	25.534 (.667)	.271E-08
9	0 397204094	30329.676 (1.346)	905.585 (1.449)	169.083 (1.878)	37.855 (.191)	30.100 (1.790)	.313E-06
10	1 566083941	36402.051 (1.939)	857.166 (1.228)	211.901 (4.633)	68.206 (3.618)	25.729 (.698)	.119E-08
11	1 812433253	34849.164 (1.777)	604.743 (.431)	122.809 (.523)	69.757 (4.049)	30.100 (1.790)	-.139E-08
12	2 100005341	42912.027 (2.694)	1180.452 (3.209)	185.413 (2.716)	50.080 (.772)	34.293 (3.914)	.285E-07

	$\alpha$	$n_2$	$n_3$	$n_4$	$n_5$	$n_6$	C
1	0 16807	16807.000 ( .207)	1311.527 ( 2.200)	215.411 ( 2.474)	55.893 ( .669)	26.077 ( .378)	.595E-04
2	0 32771	32771.000 ( .786)	43.451 ( .000)	10.770 ( .000)	10.770 ( .000)	10.770 ( .002)	.303E-04
3	0 65539	65533.000 ( 3.141)	10.863 ( .000)	10.770 ( .000)	10.770 ( .000)	10.770 ( .002)	.136E-04
4	0 69069	65139.926 ( 3.104)	1439.633 ( 2.910)	229.791 ( 3.204)	83.606 ( 5.006)	15.556 ( .017)	.145E-04
5	0 1664525	70277.437 ( 3.613)	1523.973 ( 3.452)	252.412 ( 4.664)	63.969 ( 1.313)	32.218 ( 1.346)	.546E-06
6	0 39894229	33709.289 ( .831)	1602.459 ( 4.013)	200.699 ( 1.864)	73.362 ( 2.604)	19.235 ( .061)	.232E-07
7	0 48828125	46859.707 ( 1.606)	825.337 ( .548)	209.557 ( 2.216)	67.868 ( 1.765)	35.043 ( 2.228)	.489E-07
8	0 314159269	64615.086 ( 3.054)	617.395 ( .230)	142.401 ( .472)	56.710 ( .719)	37.842 ( 3.533)	.312E-08
9	0 397204094	60659.352 ( 2.691)	967.302 ( .883)	169.083 ( .939)	75.710 ( 3.049)	30.100 ( .895)	.787E-07
10	1 566083941	68262.375 ( 3.408)	1442.078 ( 2.925)	211.901 ( 2.317)	68.206 ( 1.809)	25.729 ( .349)	.111E-07
11	1 812433253	65779.438 ( 3.165)	1209.486 ( 1.726)	122.809 ( .261)	69.757 ( 2.024)	30.100 ( .895)	-.696E-09
12	2 100005341	50827.629 ( 1.890)	1341.983 ( 2.357)	228.862 ( 3.152)	67.646 ( 1.736)	34.293 ( 1.957)	.958E-08

TABLE 5. M = 2<sup>32</sup>

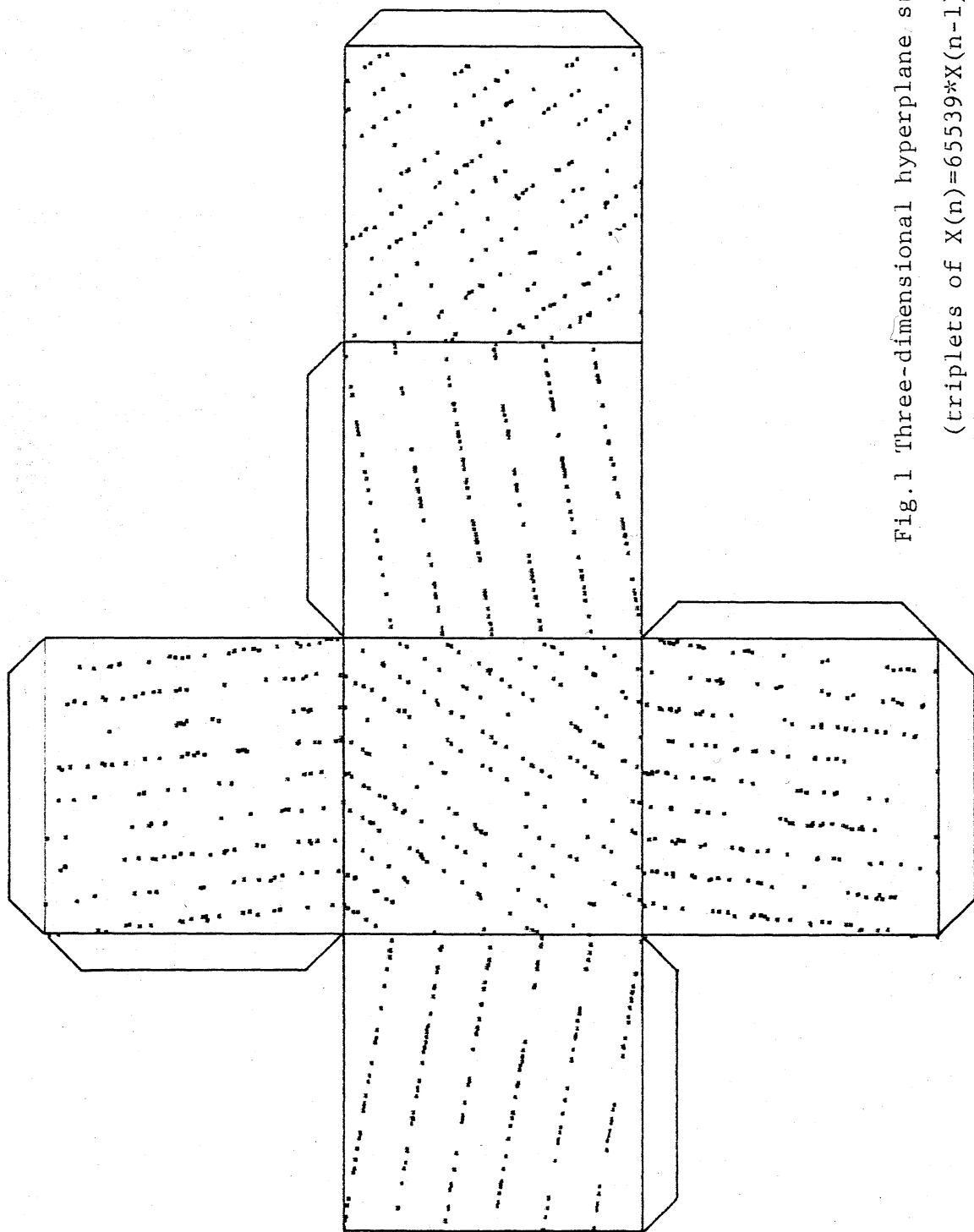


Fig.1 Three-dimensional hyperplane structure.  
(triplets of  $X(n)=65539 \cdot X(n-1) \pmod{2^{31}}$ )